

「よくわかる」高次脳機能障害

～高次脳機能障害者への支援の輪を広げたい～



「高次脳機能障害のことは知っているが、実際に支援するのは自信がない。」

「高次脳機能障害のある利用者さんと最初は上手くいっていたけど、ちょっとしたことからわかり合えなくなって、最近、事業所を利用してもらえない。」

「こちらの意図をなかなか理解してもらえない。どうしたらわかってもらえるのだろうか。」
など、高次脳機能障害のある方への対応や支援に当たっては、戸惑うことが多いのが実状です。

そこで、今回、当事者支援にも直接関わっておられる神戸大学大学院 種村留美教授を講師としてお招きし、ご自身の研究を通じて得られた、支援に必要なことや対応で工夫できることなどをわかりやすくお話しいたします。

日 時 平成27年2月12日(木) 午後6時～7時50分

(午後5時30分開場)

場 所 ハートピア京都(京都府立総合社会福祉会館) 3階 大会議室

(京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地)

内 容 テーマ 「よくわかる」高次脳機能障害

～高次脳機能障害者への支援の輪を広げたい～

参加無料

神戸大学大学院保健学研究科 教授 種村留美氏

対 象 医療機関、障害福祉・介護保険サービス事業所等、相談支援事業所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、障害者団体等、行政機関で従事されている方

定 員 120名

裏面申込書に記入のうえ2月10日(火)までにFAXにてお申し込みください。
要約筆記・手話通訳が必要な方は2月5日(木)までにお申し込みください。

講師プロフィール

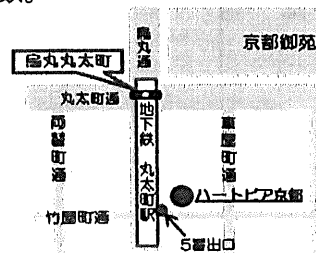
種村留美氏

神戸大学大学院保健学研究科教授、作業療法士、日本高次脳機能障害学会監事、高次脳機能障害作業療法研究会代表世話人等。

高次脳機能障害のある方への生活を見据えた支援に多くの実績を持ち、現在、宝塚市にある「地域活動支援センター Wakaba」で毎週、グループによる認知リハビリを実践。

また、高次脳機能障害のある方の日常生活支援のアプリ開発にも携わるなど、当事者のニーズに応じた研究を進められている。高次脳機能障害に関する著書多数。

会場・
アクセス



<申込・お問合せ先>

京都市身体障害者リハビリテーション
センター相談課

電話 823-1666

FAX 842-1541

- 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車
5番出口(地下鉄連絡通路にて連結)
- 京都市バス、京都バス、JRバス 「烏丸丸太町」バス停下車
烏丸通沿い南へ

FAX番号 075-842-1541

(申込先) 京都市身体障害者リハビリテーションセンター相談課
植松・太田あて

「よくわかる」高次脳機能障害
参 加 申 込 書

ふりがな		職 種	
申込者氏名			
ふりがな		職 種	
申込者氏名			
ふりがな		職 種	
申込者氏名			
ふりがな		職 種	
申込者氏名			
ふりがな		職 種	
申込者氏名			
ふりがな		職 種	
申込者氏名			
所属している事業所等	名 称		
	所 在 地	〒	
	電話番号	()	
	FAX番号	()	
備 考	☐ 要約筆記 ☐ 手話通訳 (必要な場合は☑してください)		

※ 申込締切日：平成27年2月10日（火）必着

ただし、要約筆記・手話通訳が必要な方は、平成27年2月5日（木）必着